

令和 8 年度事業計画（予算執行方針）

当センターの会員数はここ数年、県内でも屈指の伸びを示しており、令和 6 年度には 1,322 名、令和 7 年度には 1,350 名規模へと着実に増加しています。全国的に会員減少が課題となる中で、当センターが着実に会員を増やし続けていることは、地域からの信頼の厚さと、会員一人ひとりの活躍の場を丁寧に広げてきた取り組みの成果であり、大きな誇りとするところです。令和 8 年度は、この強みをさらに発展させるべく、全シ協が掲げる「新たな仲間づくり計画～10 万人の増加を目指して！～」を踏まえ、会員数 1,400 名、女性会員 566 名の達成を目標として取り組んでまいります。事業実績については、就業延人員 83,500 人日（請負 72,000 人日、派遣 11,500 人日）、契約金額 4 億 4,500 万円（請負 3 億 8,000 万円、派遣 6,500 万円）を目標とします。

そのために、リスティング広告、SNS、ホームページ、Smile to Smile などのデジタルツールを最大限活用した広報・普及啓発を進めるとともに、「シルバー Work Work サポーター」などの対面型支援も引き続き重視し、デジタルとアナログの双方から多角的に会員を支える体制を強化してまいります。また、会員の高齢化が進む中で、80 歳を超える会員でも無理なく働ける就業環境の整備や、短時間就業の拡充、新たな就業先の開拓にも積極的に取り組み、多様な働き方に応えるセンター運営を目指します。

さらに、急激な温暖化の進行を踏まえ、屋外作業から屋内作業への段階的なシフトを進め、派遣事業を主力事業として強化していく方針です。これに伴い、保育補助講習、福祉有償運送講習、マナー講習など、会員の技能向上と就業機会の拡大につながる研修を計画的に実施し、会員が安心して活躍できる基盤を整えてまいります。

安全管理においては、安全パトロールを年間 36 回実施するとともに、農作業・剪定・草刈の業種別安全講習会を開催し、安全就業の徹底を図ります。

組織運営では、Smile to Smile を活用したさらなるデジタル化を推進し、就業機会の均等化をより進めてまいります。

また、シルバーワークプラザの無償譲渡に伴う維持管理費の増加を踏まえ、組織体制の見直しと経費削減に取り組めます。併せて、職員が主体的かつ効率的に働ける環境づくりは欠かせません。昨年に引き続き、e ラーニングシステム「スマートボーディング」を活用し、職員の主体性と協働力の構築に努めてまいります。

また、令和 8 年度は新たな契約方法への移行初年度となることから、事務処理が混乱なく円滑に進むよう、内部体制の整備と職員研修を計画的に進めてまいります。

以上の取り組みを通じ、令和 8 年度は、会員がより安心して活躍できる環境づくりと、新契約方式の円滑な定着を両輪として、地域社会に貢献するシルバー人材センターとして

の役割を一層強化してまいります。

1 基本方針

高齢者の就業機会の確保と社会参加の促進を図り、地域に信頼されるシルバー人材センターとして、安心・安全で活力ある組織運営を推進する。

2 重点施策

(1) 新規会員の確保・育成

当センターの会員数は県内でもトップクラスの増加を続けており、令和6年度には1,300名を超える規模へと成長した。この強みをさらに発展させるため、全シ協の「新たな仲間づくり計画～10万人の増加を目指して！～」を踏まえ、令和8年度は会員数1,400名、女性会員570名の達成を目標とする。

リスティング広告、SNS、ホームページ、Smile to Smileなどのデジタルツールを活用した広報を強化するとともに、「シルバーWork Work サポーター」など対面型支援も継続し、多角的な会員拡大策を展開する。

(2) 安全就業の徹底

農作業・剪定・草刈などリスクの高い業務において、安全意識の向上と事故防止を最優先に取り組む。

安全パトロールの強化、業種別安全講習会の実施などを通じ、安全管理体制を一層強化する。

(3) 新たな就業先の開拓

地域ニーズの変化に対応し、企業・公共団体との連携を深めながら新規就業先の開拓を進める。

特に会員の高齢化を踏まえ、80歳を超える会員でも無理なく働ける軽作業や短時間就業の場を積極的に創出する。

(4) 就業環境の多様化

急激な温暖化の進行を背景に、屋外作業から屋内作業への段階的なシフトを図り、派遣事業を主力事業として強化する。

会員の健康と安全を守りながら、持続可能な就業環境を整備する。

3 事業別計画

(1) 会員数1,400人、契約金額4億4,500万円（請負3億8,000万円、派遣6,500万円）

就業延人員83,500人日（請負・委任事業72,000人日、派遣事業11,500人日）を目標とする。

(2) 派遣事業を重点、拡大事業として位置づけ、企業・施設等への派遣先拡大を重点的に

推進する。

- (3) 屋内作業の受注拡大を図り、温暖化に対応した就業構造への転換を進める。
- (4) ワンタイムサポート、植木かんたんトリマーなど短時間就業メニューを充実させ、多様な働き方に対応する。
- (5) プラチナネットワーク事業、空き家・空地管理ワンストップサービス事業、子育て支援事業など、地域貢献型事業の拡充を図る。

4 会員管理・育成計画

- (1) 目標会員数 1,400 名、女性会員 570 名の達成を目指し、入会説明会や広報活動を強化する。
- (2) 会員の技能向上を目的に、保育補助講習、福祉有償運送講習、マナー講習などを計画的に実施する。
- (3) Smile to Smile を活用した公平で迅速な情報提供を行い、会員の積極的な事業参加を促進する。

5 安全管理計画

- (1) 安全パトロールを年間 36 回実施し、現場の安全確認と改善指導を徹底する。
- (2) 農作業・剪定・草刈の業種別安全講習会を実施する。
- (3) ヒヤリハットの収集と分析を行い、事故防止に向けた改善サイクルを確立する。

6 組織運営・財務計画

- (1) Smile to Smile を活用したデジタル化をさらに推進し、事務処理の効率化と情報共有の高度化を図る。
- (2) 昨年度に引き続き、e ラーニングシステム「スマートボーディング」を活用し、職員の主体的性と協働力の構築を支援する。
- (3) シルバーワークプラザの無償譲渡に伴う維持管理費の増加を踏まえ、組織体制の見直しと経費削減に取り組む。
- (4) 新たな契約方法への移行初年度として、事務処理が混乱なく円滑に進む体制を整備し、職員の業務負担軽減と効率化を図る。